

社会保険庁年金問題プロジェクトを新設

社会保険庁の年金記録問題は、年金に対する国民の不安と不信感を招き大きな社会的問題になっています。この国民的関心の極めて高い年金問題について、情報システム学会では

社会保険庁年金問題検討プロジェクト(プロジェクトリーダー：上野南海雄)を立ち上げ、年金問題に取り組むことにいたしました。

情報システム学会では、情報システムとは、「社会または組織体の活動を支える適切な情報を集め、加工し、伝達する人間活動を含む社会的システム」と認識しています。

上記認識のもとに、

- ・年金システムは、利用者(国民)にとって真に有用で安全な情報システムか？
- ・社会保険庁の情報システム理解度、発注能力および情報システムが健全に働く業務運営力
- ・情報システム専門家の専門性、専門家の倫理
- ・運営に携わる担当者の倫理
- ・受注企業倫理と説明責任
- ・年金システム受発注構造と問題の解明

を中心に議論を深め、情報発信いたします。

参考：「東証における誤発注問題に関する提言」

http://www.issj.net/teigen/0612_toushou.pdf